

令和2年度 チャレンジ・プロジェクト

令和2年度 探究型リーダーセミナー（第1学年）

グローバル化や情報化が急激に進む中、様々な課題に「探求型リーダー」として対応し、理想の社会実現に向けてグローバルに活躍できる人材を育成することを目的としています。

セミナーは2回に渡っておこなわれました。

【第1回セミナー】

日程：1月21日（木） 5・6時限目 於本校体育館

13：45～13：50 講師紹介

13：50～14：45 講義 ①

14：55～15：55 講義 ②

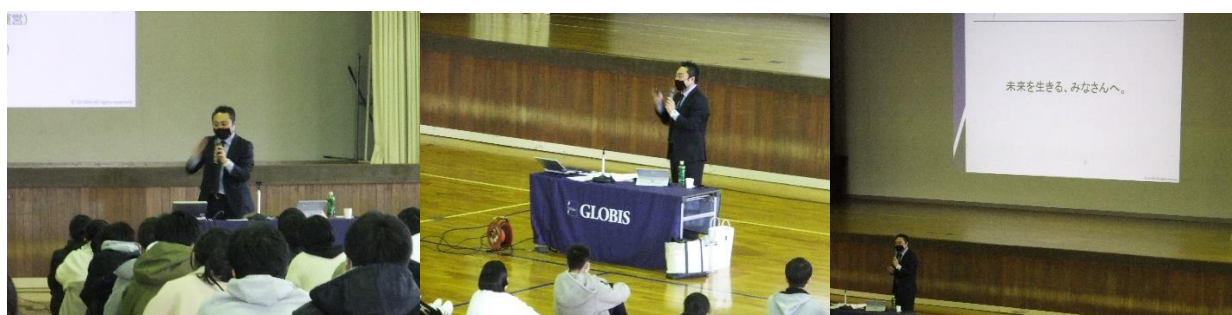
15：55～16：00 生徒代表あいさつ

講義：変化する未来を切り開くために必要な力とは

講師：川崎 篤之 先生

株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント 代表取締役社長

（学校法人グロービス経営大学院でクリティカル・シンキングの講師を兼任）



「『よのなか』を考える切り口」、「『ビジネス』って何だ?」、「クリティカルシンキングって何だ?」のテーマでお話をいただきました。

「これからどんな時代になるのでしょうか?考えてみてください。」という先生の問いかけから、講義が始まりました。課題に対して、「より広く考えること」や「より解像度高く考えること」はどんなことか教えていただき、課題について考える時間を何度も与えていただきました。

ご講義の中で、「何に対して自分は役割を果たすのか」、「誰も経験したことのない時代にリーダーに求められるのはアクション」、「深く深く考える、考えて考えて」などのお言葉とともに、「右肩上がりの時代は先輩のやってきたことを真似すればよかったが、今は初めての体験の最先端が皆さん」、「正解のない時代には自分の頭で考え続ける。探求して解決するしかない」など激励のメッセージをいただきました。分断が起こりやすい世の中で「分断の次の時代をつくる」ためのVEDA (VISION EDUCATION DIALOG ACTION) や、「変化の激しい時代だからこそ変わっていくチャンスであり、変わっていく覚悟が必要」など心に残る数々の言葉を伝えていただき、充実した時間になりました。

【第2回セミナー】

日程：2月4日（木） 5・6 時限目 於本校体育館

13：45～13：50 講師紹介

13：50～14：45 講義 ①

14：55～15：55 講義 ②

15：55～16：00 生徒代表あいさつ

演習：「考える」を考える方法論 ～次代を生きるためのクリティカル・シンキング～

講師：川崎 篤之 先生

株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント 代表取締役社長

（学校法人グロービス経営大学院でクリティカル・シンキングの講師を兼任）



今回は『『解決策』を見つけるヒント』、『『人を動かす』のヒント』、『『探求する』のヒント』をテーマにお話をいただきました。コロナ禍でディスカッション形式が難しいため、各自で考える時間が多く設けられました。

最初に、「円とその中心が示された図を一筆書きで描く」課題を通じて、「創造は壁を破ること」、「ルール・常識にとらわれない」、「知識をベースに考え抜いて何とかする」ことを体験しました。戸惑う人も多かったのですが、発表者が一人出ると次々にアイデアが発表されました。

また、クリティカル（批判的な）シンキングの説明をいただき、思考の癖に向かい合い、問い続けて考え抜くことの大切さを教えていただきました。その他、複雑な問題の解決方法の一つとして、考えやすいことに分解してから考えることも学びました。演習で、自分にとっての「進路選択」はどんな形に分解できるのか各自で考えました。

『『人を動かす』のヒント』については、ロシア側から見た日本地図を用いて、視点を変えて相手の立場から考えることについて学びました。相手が抱えている背景を慮るところからコミュニケーションが始まるので、相手の認識・反応・関心をよく考えて準備することが、人に理解され、共感を得て、動いてもらうのにとっても大切だということを知りました。

『『探求する』のヒント』では、「情報を解釈して仮説を立てて検証」することについて、商品販売を例に学ぶことができました。「思い切って仮説を立て、検証して駄目なら戻る。正解のない時代には前

に進むしかない」という言葉が印象的でした。

先生から、100人に1人のリーダーから1000000人に1人のリーダーになるにはどうすればよいか、セミナーで学んだことを明日からでも生かしてほしいとのメッセージをいただきました。前回に引き続き、充実した時間を過ごすことができました。